

社会福祉法人啓和会 令和 7 年度事業報告

(総務部1)

R7重点項目	R7実施状況	評価・実効性
1 理事会・評議員会の適切な運営 (総務課)	① 理事会 (6回開催) ・R6事業報告、決算報告 ・新規事業(わん・ステップ)による定款変更及び資金借入 ・評議員、理事、監事の選任(6/13) ② ・R7上半期職執行状況報告(11/28) (理事長、業務執行理事) 評議員会 (3回開催) ・標記理事会における案件の承認など	○わん・ステップ整備関係の議案 ・定款(基本財産繰入)変更 わん・ステップ扇町、城前、塩川 ・資金借入及び基本財産の担保提供(県許可) わん・ステップ城前、塩川 ・外国籍人材雇用に伴う日本留学への「奨学金貸与規定」の制定 など
2 財務データの提供と分析中・長期資金計画の策定 管理会計・制度会計に基づく予算管理 (経理課)	① 月毎実績(事業活動資金収支、当期資金収支)による営業利益・サービス活動の集計、実績予測の提示 ② 施設整備の資金借入(8/26理事会) わん・ステップ城前、塩川教室 城前: 47,000千円(10年) 塩川: 90,000千円(20年)	①各施設の運営上の課題把握 財務活動支出を通しての収支の現状理解と改善策 ②資金借入(議案内容) 城前: 1.875%金利の適用 塩川: 1.875%金利の適用
3 コスト管理対策	① 施設のLED化工事の推進 ② 電力契約による電力料金の見直し	①施設のLED化の継続 未設置施設分(3施設)の実施 以上、対応必要な15施設の実施完了 ②高圧電力契約の見直し 固定単価及び一部市場連動型での電力契約(高圧電力契約施設)の見直し⇒R8年度から料金安定化に向けた固定単価型への契約変更

(総務部2)

R7重点項目	R7実施状況	評価・実効性
4 施設・設備の計画的修繕 (庶務課)	(実施例) ① 介護医療院の大規模改修 ・ボイラー更新：7,535千円 ・空調改修：33,440千円 ・エレベータ改修：13,970千円 ⇒補助金の確保(30,081千円)による老朽化設備の修繕対応 ② 介護医療院 ・特殊浴槽の整備(R8年1月21日) 事業費：6,334千円 (3/4補助率) = 4,752千円(補助金額) 	社会福祉連携推進法人の加入を条件とした「高齢者施設等の防災改修等支援事業」補助金の確保による老朽化設備の修繕実施(R7年度第1次補助採択) 2025年度競輪補助事業

(企画調整部1)

R7重点項目	R7実施状況	評価・実効性
1 施設稼働状況にみる事業部間連携の推進	啓和会内の部長会議、施設長会議（高齢福祉部）、園長会議（児童福祉部）、わん・ステップ教室長会議（障がい福祉部）を通しての稼働状況の提示と運営体制支援	理事長主催の各会議において、介護保険請求に基づく月次稼働率からの運営対策、課題事項への取組などを調整 ※わん・ステップ教室長会議を新規に開催（R8年3月）
2 新規事業化施設（わん・ステップ教室）の運営支援	① わん・ステップ運営のサポート ⇒米代教室（扇町へ移転）、城前教室 ② 扇町教室への移転⇒R7年7月開所 塩川教室の整備促進⇒R7年9月開所	○児童発達支援の利用者確保 ・各自治体での待機実態確認 ・保育所との連携 などによる利用者確保への取組
3 外国籍人材の受入拡充	① R7受入（計）8名 技能実習：フィリピン(5)ベトナム(2) 特定技能：ベトナム(1)←前技能実習生 ② R8受入準備⇒「特定技能」への切替促進（予定）新規6名（ミャンマー） ⇒啓和会「奨学金貸与規定」による支援	・今後（3～5年後）の介護職員不足を見越しての外国籍人材雇用の継続（計画）への取組 ・現在就業中の「技能実習生」の「特定技能」への切替への取組
4 人材確保の推進	① リファール採用（職員紹介）制度の取組や派遣・パート職員の採用により、昨年と比較して職員数の確保を推進 ② 外国籍人材の確保への優遇策 ⇒R8受入予定の「特定技能」の確保のため、啓和会独自の「奨学金貸与規定」を制定（R7年4月10日理事会）	①職員紹介制度による効果 R7夏季実施（実績3人） 7/15～9/30 R7冬季実施⇒1月以降予定 ②日本語学校留学制度を支える奨学金制度を規定し、日本での学習環境をサポート

(企画調整部2)

職員数推移

R7.3.1 R8.3.1
職員数 512名 519名 (7名増)

【各部門】

高齢 384名 385名 (1名増)
児童 69名 68名 (1名減)
障がい 31名 37名 (6名増)

リファール（職員紹介制度）採用の強化や、派遣・パート職員の採用により、新規事業所を開所した障がい福祉部は、職員増となったが、他部門はほぼ昨年度と同水準となった。

外国籍人材では、今年度の「技能実習生」の受入から「特定技能」の受入（R7年度～）に切り替えていく。

技能実習生：19名

配属施設	技能実習	特定技能	
	2025年 7月時点 技能実習 (計)	2025年 6月入職	2026年 4月入職
しょうぶ苑 (既存)	7名 (ベトナム) △2 帰国	1名② (ベトナム) 特定技能と して再入職	
しょうぶ苑 (ユニット)	3名 (フィリピン)	—	—
けいわ苑	6名 (フィリピン)	2026年4 月よりミヤ ンマー人6 名の特定 技能を採 用	4名 (ミャンマー)
介護医療院	3名 (フィリピン)		—
ハートランド ケア東町			2名 (ミャンマー)
雇用総数	19名③	1名③	6名③

外国籍人材：計26名

(公益事業部1)

R7重点項目	R7実施状況	評価・実効性
1 地域福祉の拠点としての活動と役割 (地域貢献活動など) 	① 利用者負担軽減と授産品の商品開発、販売促進（就労継続支援B型施設を通しての取組など） (新規事業) ヴィヴィわんブランドの創設 R7年4月より販売開始 (新規商品) 馬肉ジャーキー	セレクトショップ&ギャラリー（喜多方駅前）のみならず、各種のイベントへの参加を通して、授産品の販売促進への取組 ・販促ルート網の拡大 (例) 郵便局での店頭販売開始 ・受注に対する製造、納期の確実性などへの取組（課題点）
	② 地域貢献への取組 2026.2.5(木)喜多方地区保護司会よりタオル・ポケットティッシュ・金一封を授与 ⇒公益事業の一環として、喜多方地区保護司会への事務所提供への取組	
	③ 地域活性化事業への支援 2026.3.14（土） 会津若松市「ありがとうマルシェ」への参加 (神明通りまちなか案内所) ヴィヴィわん特製「犬のおやつ」を数量限定で無料配布	

(公益事業部2)

R7重点項目	R7実施状況	評価
	④ アニマルセラピー訪問活動 	施設入所の高齢者の方々への癒しだけでなく、保育園イベント等への訪問によ、生き物に対する共感を促進（情操教育上の効果など）
	⑤ 福祉介護の職場見学会への協力 ⇒福島県社会福祉協議会 （福島県福祉人材センター）主催による福祉・介護の職場見学・体験事業  	喜多方第1小学校5学年 R7年10月24日実施 しょうぶ苑（参加生徒24名） けいわ苑（参加生徒22名）

(高齢福祉部1)

R7重点項目	R7実施状況	評価・実効性
1 利用者一人ひとりに合わせた質の高いサービス提供と稼働率の向上（改善策）	① 研修による職員の資質向上への取組 腰痛予防・介護事故防止研修 身体拘束・虐待防止研修 感染症対策研修会 などの実施 ② 生活相談員会議等による入所支援対策 （例）医療院などでの受入のあり方と家族向けの説明方法への取組	高齢者施設での稼働率向上 （生活相談員会議での取組） 入所申込情報の共有、実態調査への早期化の実現が課題 ・PDCAによる評価と稼働率改善策 ・加算事項の再確認 ・居宅介護支援事業所等への案内
2 感染症や災害に対する予防策 ※BCP計画の適切な運用	① （実施例）「けいわ苑総合避難訓練」 R4水害を教訓に喜多方市・消防本部等の立ち合いを得ての訓練実施 ② 老人福祉法第18条（報告の徴収等）による「指導監査」及び介護保険法第24条（帳簿書類等の提示）による「運営指導」の検査 ・いちろうの木（9/2） ・ハートランド東町（9/9） ・介護医療院（10/14） ・けいわ苑（11/27）	①総合避難訓練9/25実施 ②感染・災害発生時のBCPに係る研修・訓練についての見直し ⇒県による指導監査での指摘 BCPの取組について、研修・訓練を「感染症BCP」の場合、「非常災害BCP」の場合ごとに年2回実施していくこと…の指摘
3 外国人技能実習生受け入れ施設での介護技術指導による介護サービスの質の向上	① 新規（R7）の技能実習入職数⇒7人 （ベトナム2名／フィリピン5名） ② 外国人介護人材フォローアップ研修会への参加（県老人福祉施設協議会主催） ⇒誤嚥・排泄・歩行・転倒転落・入浴等	R8年度からの取組として「技能実習」から「特定技能」への転換対策 ・技能実習から特定技能へ：1名 ・新規の特定技能の雇用：6名 （4/1～ミャンマー人）
4 介護現場のICT化	○ 介護記録の自動入力とペーパーレスなど（記録に係る時間的負担の軽減検討）	介護記録AIでの記録の自動作成の試験的導入の検討

(高齢福祉部2)

R7重点項目		R7実施状況	評価・実効性
5	国・県による介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業、及び物価高対策への取組（補助金の確保） （参考） R8年度中に介護報酬改定が予定される。	国、県、市町村による緊急的補助事業による補助金の確保（経営の改善対策） ○国による支援策 賃上げ・職場環境改善に関する補助金 ○国・県・市町村による物価高騰対策 国：サービス継続支援補助金 県・喜多方市・西会津町：物価高騰対策補助金 この他、国の補助制度「生産性向上」での介護テクノロジー導入における費用対効果を協議中	○国補助金 ⇒県経由の要綱3/12発表 補助申請3/12～4/17に向け、事業確認等（介護テクノロジー導入等の費用対効果の検討） ↓ ※（賃上げ上乘＋生産性向上＋職場環境改善）＝1.9万円／人 ○県による12月補正（申請済） ・高齢施設分：8,950千円 ・障がい者施設分：1,096千円

事業所	R6年	R7年	GH	R6年	R7年	事業所	R6年	R7年
従来型	95.0	94.8	やわらぎ	99.4	97.9	多機能やわらぎ	76.2	80.3
ユニット	93.5	96.7	あじさい	99.9	94.1	多機能西会津	78.3	68.0
しょうぶ苑 計	94.3	95.8	東山しょうぶ	95.1	96.9	※多機能計	77.3	74.1
けいわ苑	93.6	93.6	杵が森	87.1	82.5	ショート	67.6	71.6
いちようの木	94.7	95.9	西会津桐	87.1	85.5	しょうぶ苑デイ	64.2	63.2
介護医療院	74.6	75.6	西会津おとめ	93.0	90.4			
※特養 計	89.2	90.0	夢の森	92.9	97.2	高齢福祉部 計	87.5	87.2
ハートランド老健	95.5	94.5	ひびき	78.6	74.2			
ハートランド有料	93.4	96.3	至福の郷	89.6	94.8			
ハートランド 計	94.8	95.1	※GH 計	91.2	90.8			

(児童福祉部1)

R7重点項目	R7実施状況	評価・実効性
1 人材の育成及び人材の確保 働きやすい職場環境づくり	人材確保の観点からも働きやすい職場環境づくりへの取組（キャリアアップ研修⇒経験年数別、次世代リーダー向けなど） ・児童福祉部合同研修への取組 新人育成研修、5年以上・10年以上研修 救命救急研修など	児童福祉部合同研修会では、「見方で変わる子供の姿」をテーマに「子どもを知る！、発達を知る！」ことへの取組の実施など、継続的に人材育成を推進
2 行政機関などとの保育園運営の課題共有	喜多方市との連携 ・教育保育業務情報交換会議 ・教育保育施設等連絡会議	R8年度新入園児募集、継続児童入所の意向確認などを通しての保育園運営への方策（取組）
3 保育園の多様化への取組 園児募集など保育園の魅力度アップへのインフォメーション対策	① 保育園事業の発信 ・親子プレーデーの実施 10/4 ・小学校見学（幼小連携への取組） ・ハロウィン仮装（けいわ苑慰問）10/31 ・その他事業（下記の写真を参照）	Instagramを通しての情報発信⇒保護者等への運営の見える化への積極的な取組
		
12/20保育発表会	1/8団子さし（世代間交流）	1/15歳の神（地域交流）

(児童福祉部2)

R7重点項目		R7実施状況	評価・実効性
4	喜多方市公立こども園の動向を見据えた保育園運営のあり方 ※喜多方市の動向 市立こども園10園を段階的に廃止し、R12年度までに各地区1施設（全体計5園）に再編予定	月毎の「園長会議」での法人本部との情報共有、課題提起による方策への取組 ・保育士不足に伴う定員数条件の調整 ・加算措置（公定価格）確保を考えた定員数の見直し（検討）など ⇒国の定員数の120%超過受入れによる（待機児童解消対策）の方針をもとに、東のびやか保育園の定員数削減、さつき保育園の存廃（継続性）を協議	・園長会議での3保育園の事業運営上の情報（課題等）共有による実態把握 ・保育士の健康状態や負担軽減策、また職員不足による保育園の運営上の課題（定員数見直しの取組）に向けて対応中（⇒R8目途）

(参考) R7年度の園児数 (R7年4月～R8年3月)

	児童年齢	0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳児以上	計
東町のびやか保育園 定員：120名	R7計画	10名	33名	20名	45名	108名
	R8年3月実績	10名	32.1名	20名	45名	107.1名
さつき保育園 定員：19名	R7計画	0名	9名	-	-	9名
	R8年3月実績	0名	9.2名	-	-	9.2名
塩川のびやか保育園 定員：90名	R7計画	11名	30名	21名	41名	103名
	R8年3月実績	12名	29.8名	21名	41名	103.8名

(障がい福祉部1)

R7重点項目	R7実施状況	評価・実効性
1 障がい児支援事業所の開所・児童発達支援、放課後等デイサービス、障がい児相談支援への取組	① わん・ステップ扇町教室の開所：7/1～ （わん・ステップ米代教室の移転） ② わん・ステップ塩川教室の新設：9/1～	会津若松市内：城前・扇町教室 喜多方市内：塩川教室 の3教室による運営体制
2 目標稼働率の達成（継続的な営業活動と丁寧な利用者受入れ）	① 教室の案内リーフレット作成と紹介 ⇒会津圏域相談支援事業に関するワーキンググループへの紹介など、障がい児相談支援員への周知 ② 周辺自治体の待機児童対策への協議 ⇒会津坂下町の待機実態などの確認（10/28協議） ③ 専門医（児童精神科医など）による相談支援の機会づくりへの検討	障がい児相談支援員による利用プランの作成に至らない待機児童がいる中で、施設利用への早期対応が図られる対策が課題 ・相談員の育成 ・各自治体の積極姿勢など ・啓和会顧問（精神科医）による職員、保護者との相談機会の確保などへの取組（検討中）
3 就労支援施設での工賃向上と新商品開発及び販売先の開拓	公益事業部との事業連携 平均工賃をアップしていくため、ペットフード販売を開始（ぐいぐいわんブランド） ⇒公益事業部報告参照（p7）	（公益事業部＝同掲載） セレクトショップ&ギャラリー（喜多方駅前）のみならず、各種のイベントへの参加を通して、授産品の販売促進への取組 ・販促ルート網の拡大 （郵便局での展示販売） ・受注に対する製造、納期の確実性などへの対処が課題



授産施設
組立→
←縫製

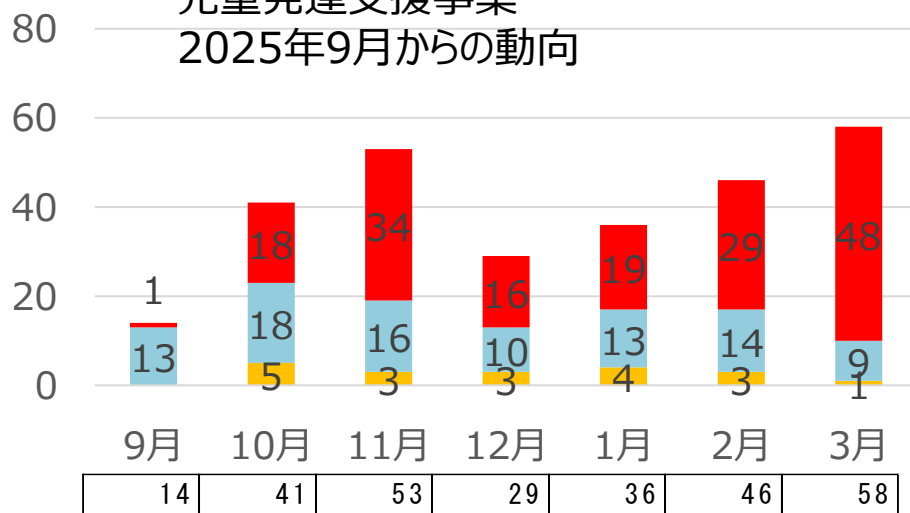


(障がい福祉部 2) わん・ステップ教室の運営状況

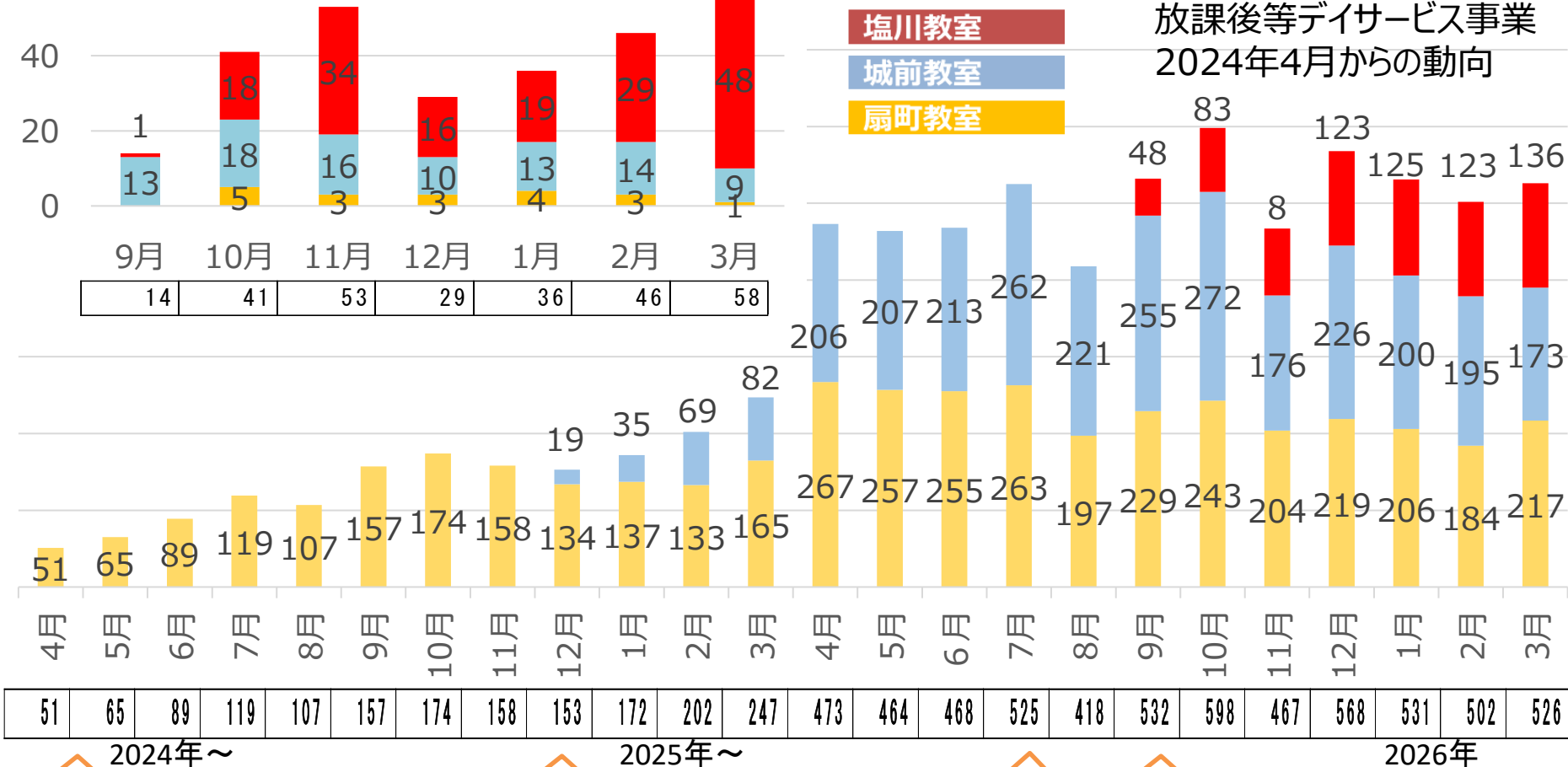
2026年3月までの実績表



児童発達支援事業 2025年9月からの動向



放課後等デイサービス事業 2024年4月からの動向



米代教室open
2024年4月～

城前教室open
2024年12月～

扇町教室open
2025年7月～
米代教室移転

塩川教室open
2025年9月～

令和7年度離職率・入退職者数 （令和7年4月1日時点～令和8年3月31日時点）※括弧内令和6年度数値

部門	入職者数（人）	退職者数（人）	離職率（％）
総務部	3（2）	1（3）	3.5（11.5）
高齢福祉部	55（65）	51（46）	13.3（11.8）
児童福祉部	11（6）	10（10）	14.7（14.4）
障がい福祉部	13（16）	11（4）	29.7（13.3）
全体	85（89）	73（63）	14.1（12.3）

令和7年度職員数・平均年齢・男女比率 （令和8年3月31日時点）

※企画調整部、公益事業部は、総務部でカウント。※括弧内:令和7年3月31日付

部門	職員数（人）	平均年齢（歳）	男女比	
			男（％）	女（％）
総務部	29（26）	50.4(48.9)	50.0(56.8)	50.1(43.2)
高齢福祉部	391（387）	48.0(48.7)	24.2(27.1)	75.8(72.9)
児童福祉部	68（65）	43.7(39.3)	8.0(8.9)	92.0(91.1)
障がい福祉部	37（30）	44.2(45.2)	29.7(28.6)	70.3(71.4)
全体	525（512）	46.6(45.5)	23.3(28.2)	76.7(71.8)

【参考】

「令和6年度介護労働実態調査」厚生労働省

- ・全産業平均離職率：14.2％
- ・医療・福祉平均離職率：16.1％
- ・介護職平均離職率：12.4％